



読字 原田 銀

No. 738

2014/7/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話 03-4333-1111

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山県岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊鳥中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会

岡山支部2014年度総会

6月21日(土)、岡山市福祉交流プラザ旭東で岡山支部総会を23人の参加で開催しました。

宇野支部長が、総会前日終了した国会を「悪法づくりの国会である。安倍政権は戦争する国づくりに向けてますます暴走している。憲法前文



と協会規約第2条(目的)に基づいて日中不再戦の伝統を引き継ぎ、日中友好運動をさらに進めていこう」と会を代表してあいさつしました。

日本国民救援会岡山県本部・萱栄次副会長、中国共同映画株式会社・滝元将社長、日中国際交流支援協会日本本部・汪梦维(ワンモンウエイ)さんから来賓あいさつをいただきました。

議案提案の活動報告は例年どおり担当理事が行い、会計報告も含め一括承認。

2014年の活動のすすめ方として

- 一、憲法を守りくらしにいかそう」という声を、国民の過半数にしましょう。
- 一、中国帰国者とその配偶者への支援を強め、交流を深めよう。
- 一、文化活動をさらに強めましょう。
- 一、組織を大きくしましょう。
- 一、高梁・総社地区を中心に新しい支部をつくらう。

一、財政、事業計画の強化。これらを柱として活動する方針を決定しました。

また、望郷の鐘〜満蒙開拓団の落日〜の製作・上映運動を日中不再戦の運動の一環として成功させよう。制作協力券を倉敷支部とも協力して責任をもつてとり

総会参加の感想文

汪梦维(日中国際交流支援協会)

2014年6月21日に、日中国際交流支援協会を代表して、日中友好協会岡山支部の2014年度総会に参加させて頂きました。

日中友好協会岡山支部の方々の紹介によって、日中友好協会が日中文化講座、中国料理教室、太極拳活動、中国語講座など、さまざまな活動を行っていることがわかりました。本当に長い間にいろいろな面で工夫されており、中国人として、日本人の皆様が中国のことに関心を持ち、日中友好交流に対して力を尽くしておられることについて、本当に感動しました。日本も中国も豊かで、魅力

あえず100枚を販売することも確認しました。当日12枚が売れました。

新年度予算、新役員を選出し、小林事務局長の全国大会報告及びまとめを兼ねた閉会のあいさつがあり、12時に総会を終了しました。

西森文字

的な文化を有します。日本に住んでいる中国人として、日中の間の架け橋になるために頑張りたいと思います。

我が協会は日中国際交流団体として、主に日中貿易、日本留学、日中文化交流、在日華人に向け在日生活支援等の多方面で日中友好交流のために、頑張っております。

これからも、皆様と一緒に日中友好交流の道で、もっと遠くまで歩いて行きたいと思っています。



汪梦维さん

憲法改悪反対・秘密保護法廃止を目指して

孫崎享 講演 & 沢知恵 LIVE

6月7日(土)午後1時半から岡山県総合福祉会館で、タイトルの会が開かれました。

今まさに自公政権による集団的自衛権の閣議決定が行われようとしている時期だけに、多くの方が危機感をもつて、この会に参加されたようです。実行委員会からの連絡で370人の方が参加されたことがわかりました。

当日、沢知恵さんの魂のこもった歌声に感動し、私の友人は彼女の声に「恨」を感じると言っていました。彼女の紹介パンフレットをみて、納得していました。

孫崎享さんの講演は、集団

的自衛権についてだと期待していました。しかし、良い意味で裏切られました。今の状況を的確に説明し、自衛隊が米軍と一体となつて行動するためには、情報を国民に知らせないでおく必要があり、特定秘密保護法が手始めであること。

この法律がいかに危険なものであるか、日本外国特派員協会会長声明が出されていることを知りました。それは2013年11月に出されています。その全文を次号で紹介したいと思います。

真田

東日本大震災へ救援金おくる

第19回の救援金26,201円を送りました

2011年4月6日の第1回から累計で230,446円になります。

今回は太極拳有志の募金に

加えて、私事へのお見舞い金を送って送りました。

ありがとうございます。これからもよろしく。

(竹内)

長江三峡下りに参加して

少人数(7人)のため、従来の旅行では利用しないリムジンバス・地下鉄・リニアモーターカーなどにのり、専用バスの移動とは違う旅になりました。

リムジンバスでの事ですが、女性の車掌さんが、次々と乗り込んで満席となったお客さんから一人の漏れもなく料金を徴収した記憶力のすごさにおどろきました。

土産物店や路上での売り手の圧倒的に多くが女性でした。その売り込みの熱心さには感心しました。この逞しさはどこから来るのでしょうか。下船して観光、帰船して休

を休め、ゆつくりと食事を取り、また、上陸して観光するというまことにぜいたくな船旅をさせてもらいました。

東 朋子

杖に頼った

楽しい旅でした

腰椎捻挫と言われて10年近くになります。最近の違和感出現の状況から、急に歩行困難になるかもという不安感がよぎるようになりました。年金者組合の仲間から2本の杖で歩くノルディックウォークを薦められていました。今回の「友好の旅」の案内

によると、「上陸観光」が4カ所あり、階段・坂道を登るとありました。5月の初めにノルディックウォーク用の杖を購入し「歩行練習」をしました。階段の下りでは、どちらの杖を使うか迷うことがありま

した。一日二度の上陸観光は近年まれな運動量でしたが、杖があればこそ出来たことでした。白帝城に入場するや、2本杖歩行は「駕籠に乗れ」の集中砲声を浴びることに。これはやり過ぎせたのですが、時



折の雨は難儀でした。片手は傘に使うのでから。漢口駅でスーツケースを引いて移動中、足早に近寄ってきた人が、持っている杖を指さしながら早口に話し掛けて来ました。咄嗟の対応が出来なかつたため「民間交流」は成立せず、このときの杖は「お荷物」になっただけでし

た。辛亥革命博物館前の公園では、子供が近寄ってきて杖を2本握りニコッと笑い掛けてくれました。2人で一緒に杖を上下させて気持ち交流することができました。杖の機内持込みはダメでした。凶器になるということか、杖も使い方次第ですね。

東 都支男

芳田日本語学習講座・送別会

6月17日、芳田公民館で台湾へ帰られる、磯上さんの送別会を11人の参加で開きました。

受講生は中国料理を、講師は日本料理をそれぞれ一品つくくることにしました。おしゃべりをしながらも手は休まる事なく、あつという間に10品程

す。この教室は2年ほどでしたがいつもノートをきちんと執られ、まじめで努力家でもありました。冬は朝作った台湾のおかゆを、夏は冷たい台湾のお茶を、ほんとうに気配りのある方でした。祝你健康!

貝吹佳代子



真ん中のVサインが磯上さん

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか?

81

竹内和夫



母の象形文字

文字の発明は文化をひろげた

B: 前回につづいて、エンゲルスの論文の解説(伊藤嘉昭 1974 青木書店)には、「人間の脳がなぜ、ほかの動物よりずばぬけて大きいのか、といえば、それは手と口と舌をつかさどる部分の大きいことによるのです」として進化の過程で音声言語が生まれたという。サル

C: 世界のどんな言語も 30 ±10ぐらいの音素からなりたっていて、そのばらばらな音を組みあわせて意味のある単位をつくること

A: チンパンジーに英語を教え込もうとしたアメリカの人類学者、苦勞むなく、不成功。ただしバナナを?の絵とおなじものとわからせることはできた。文字の出発は象形(ショウケイ)から、ただしごく少数。中国の甲骨文もエジプトの聖刻文字(ヒエログリフ)も。

B: 漢字のことなら、この本おすすめ:一海知義『知ってるようで知らない漢字』(1995講談社+α文庫¥840)

C: 音声言語は会話するたびに消えてなくなる(テープの発明で残すことができる)が、文字言語は遠くの人にも、耳の不自由な人や後世に伝えることができ、人類の文化をゆたかにした。ただし漢字の数の多さが最大の難点だ。『康熙字典』には 47.035 字の見出しがのっている。

A: 漢字を表意文字、ABCなどを表音文字とよぶのは間違いだ。すべての文字は音をあらわす。音をあらわさないものは文字ではない、ただのしるし、標識、符号だ。

B: 中国語を学ぶ第一歩はピンイン(拼音)字(ローマ字、ラテン文字)の読み書きができることだ。できなければ万年入門生であれ。

つづく

さいごに、ご主人が日本の方なので日本へ来た時には必ず教室に来るという約束をして会をとおしました。磯上さんは台湾の方ですが、とても日本が好きで趣味は備前焼だそうです。ご主人も畳の部屋があり、奶奶も日本語を話されていたそうで

次回の新聞送付作業は7月22日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川 小和
竹内 和
竹内 和
坪井 和